



## Q: 赤ちゃんの体重がへるの大丈夫?

A: 生後3~4日めまでの赤ちゃんは、おしっこ(尿)やうんち(便)を出すのに比べて、飲む量が追いつかないために、体重がへっていきます。生まれたときの体重の10%以内のへり方であれば問題ありません。1週間~10日間後には、生まれたときの体重にもどっていきま

## Q: 赤ちゃんの体が黄色なのは大丈夫?

A: 黄疸(皮ふが黄色になること)は、どの赤ちゃんにもあります。生後3~4日めごろから、顔や白目が黄色くなりますが、1週間~10日めごろには、なくなっていくます。黄疸の原因は体の中のビリルビンという黄色い物質によるものです。赤ちゃんの体の中では、赤血球のヘモグロビンがお腹の中にいた胎児期のものから大人のものにかわるため、たくさんの赤血球がこわれます。赤血球がこわれてビリルビンができるのですが、このビリルビンによって、皮ふなどが黄色に染まることを黄疸といいます。通常、ビリルビンは便として体の外にでていくものですが、赤ちゃんの場合は、体のはらたきが大人とくらべてまだ未熟で、ビリルビンを処理し便として外にだすはたらきも弱いので、このような症状がこります。ビリルビンの値は血液検査でわかりますが、基本的には元気がよく泣いて、よくのめていれば問題ありません。黄疸が強いときは、「光線療法」という赤ちゃんに光をあてる治療をすることがあります。また、母乳をのんでいる赤ちゃんは黄疸が長くなることもあります。元気があってよくのめていれば心配ありません。



## Q: के बच्चाको तौल घट्नु हुनु ठीक हो?

बच्चा जन्मेको ३-४ दिन पछि तौल घट्छ किनभने उसको दिशा गर्ने र पिसब फेर्ने मात्रा, (दुध) खाने तुलनामा बढी हुन्छ। जन्मेको बेलाको तौल भन्दा १०% घटेको छ भने कुनै समस्या हुदैन। एक हप्ता देखि दस दिन पछि, जन्मेको बेलाको तौलमा फर्किनेछ।

## Q: के बच्चाको शरीर पहेलो हुनु ठीक हो?

A: प्राय सबै बच्चामा जन्डिस (बच्चाको छाला पहेलो हुनु) हुन्छ। जन्मेको ३-४ दिनपछि धेरै बच्चाहरुको अनुहार, छाला र आँखा पहैलिएका हुन्छन, तर १ हप्ता देखि १० दिन सम्ममा पहैलो रंग हराउँदै जान्छ।

जन्डिस शरीरले बनाउने पहैलो वस्तु बिलीरुबिनको कारणले हुन्छ। जन्मेपछि, बच्चाहरुलाई भ्रुण अवस्थाको जस्तो रातो रक्तकोषहरुको आवश्यकता पर्दैन, त्यसैले रातो रक्तकोषहरु टुक्रिन्छन र रागतमा मिसिन्छन। रातो रक्तकोषहरु टुक्रिएर बिलीरुबिन बन्ने हो, र यसले छाला पहेलो बनाउने हुनाले यस अवस्थालाई कमलपित्त (जन्डिस) भएको भनेर भनिन्छ। सामान्यतया, बिलीरुबिन दिशासंगै शरीरबाट बाहिर जान्छ, तर बच्चाको शरीर, वयस्कको तुलनामा अझै अपरिपक्व हुने भएकाले बिलीरुबिनको प्रशोधन गरेर दिशाको रूपमा बाहिर पठाउने काम गर्न सक्दैन। त्यसैले त्यस्ता लक्षणहरु देखा पर्दछन्। बिलीरुबिनको मात्रा रगत परीक्षण बाट थाहा हुन्छ, तर बच्चा ठीक छ, रुन्छ र दुध खान्छ भने केही समस्या हुदैन। यदि कडा जन्डिस भएको छ भने, फोटोथेरापी भनिने बच्चालाई प्रकाश दिएर गरिने उपचार बिधी प्रयोग गर्न सकिन्छ। साथै, स्तनपान गरीरहेका बच्चाहरुमा लामो समय सम्म जन्डिस रहि रहन सक्छ, तर बच्चा स्वस्थ र राम्रो छ, दुध खान्छ भने चिन्ता लिनु पर्दैन



## Q: どうして K2 シロップをのむの?

A: 生まれてすぐの赤ちゃんは、ビタミン K がたりないことがあります。ビタミン K がたりないと、血液をかたまりさせるはたらきが悪くなり、脳や消化管などで出血しやすくなります。これを予防するために、入院中(生まれたあと授乳を開始してすぐと、退院のとき)と生後1ヶ月ごろにビタミン K2 のシロップをのませます。



## Q: どうしてかかとから血をとるの?

A: 先天性代謝異常症をはやくみつけるための血液検査で、これはすべての赤ちゃんに生後4日めに行います。検査の方法は、入院中に赤ちゃんの「かかと」から少しだけ血液をとります。結果は、検査をしたところから郵送で送られてきます。



## Q: 赤ちゃんの検査はいつですか?

A: 1ヶ月健診は赤ちゃんが生まれた病院でうけてください。そのあとも、発育・発達の確認と異常をはやくみつけるために、生後3ヶ月ごろ、6ヶ月ごろ、9ヶ月ごろ、1歳ごろの定期健診をうけましょう。健診は、市や区の保健センター(無料なことが多い)や、かかりつけの病院でうけることができます。出生届をだしていれば、役所から郵送で連絡がきます。

## Q: K 2 シロップをいつに?

A: 母乳で育つ赤ちゃんは、母乳に含まれるビタミン K が足りず、出血のリスクが高くなります。入院中(生まれたあと授乳を開始してすぐと、退院のとき)と生後1ヶ月ごろにビタミン K2 のシロップをのませます。



## Q: くるくろばた すぐ 何に 注意?

生後1週間以内の赤ちゃんは、代謝機能がまだ発達していません。そのため、くるくろばた(先天性代謝異常症)のリスクが高くなります。くるくろばたは、生後1週間以内の赤ちゃんに多く見られます。くるくろばたは、生後1週間以内の赤ちゃんに多く見られます。くるくろばたは、生後1週間以内の赤ちゃんに多く見られます。



## Q: 赤ちゃんの検査はいつですか?

A: 赤ちゃんの健康を定期的にチェックするために、生後1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、9ヶ月、1歳、2歳、3歳の健診を行います。健診は、市や区の保健センター(無料なことが多い)や、かかりつけの病院でうけることができます。出生届をだしていれば、役所から郵送で連絡がきます。